

東方タツグ的  
エロ本

成年  
向け



～タッグトーナメント観戦中につまみ食い紫～

「白熱した試合を見てたら体が火照ってしまってます…」  
「ちよっとおちゃんほ貰して…」

「ふおおおっ…つるつる手袋コキすげえッ…」

「ゆかりんのエロフェラ顔見てるだけで出ちやいそうだよ…」

ふー♡

ふー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

ふー♡

ふー♡

「んふ…♡おいしいおちゃんほ貰わあ…♡  
こんなにガチガチにして  
溜まっていますのね…♡」

「ああ、出るよッ…  
ゆかりん全部飲んでねッ…」

「よし、俺は可愛い顔にぶっかける  
からねッ…」

「ああん…♡早くサーメンで  
おまんこ舐めたいな…♡」

～命蓮ジムでセクササイズ～

「それでは命蓮ジム名物  
個人セクササイズレッスンですよ♡」  
「ちよつと汗臭いかもしれませんが  
我慢してね♡」

「汗臭いだなんて！  
白蓮様の汗、すごく興奮しますッ……」  
「ふふ…♡お上手ですね  
貴方は今日が初めてですので  
とりあえず腕に3発、頑張ってみて  
くださいね♡」

「ん♡」

ん♡

ん♡

「ん…♡ なかなか良いおちんほですな」  
「白蓮様のおまんこ吸い付いて、先っちょ  
だけなのにもうイっちゃいそうですッ…」  
「あらあらちゃんとしたストン運動しながら  
射精しないとダメですよ」  
「はいリスミカルに南無三ッ♡」  
「うおおおおッ…」  
「南無三ッ♡ はい頑張ッて♡南無三ッ♡」  
「ああッ…もうッ…出ッ…」  
「出す時は思い切り腰を打ち付けて  
子宮に直挿流し込んでくださいね♡」





～試合後の天子をマッサージ～

「天子ちゃん試合お疲れ様！  
じゃあ、さっそくいつものマッサージで  
お腹の奥からほっかぽかにしてあげるからね」

「毎回、試合後にこんな事して…  
ホントは私とエッチしたいだけなんで…」  
この変態っ…」

「汗だくでフェロモン出しまくりの天子ちゃんのお尻みたら誰でも食べたくなっちゃうよ  
それに天子ちゃんも気持ち良いでしょ？」

「へ、別に気持ち良くなんで…」  
「そんな素直じゃない天子ちゃんも  
ちんぽでコスってあげると…」  
「ちよ…くらっ…やめなさいよっ」  
「ほーら、おまんこはこんなに素直に  
なってるよ…」  
「ひんっ…♡そんなにやの…♡  
全然良くないんだかりや…♡」  
「もう声がトロトロ口になってるよ…  
ホント可愛いなあ天子ちゃん」





~ゆゆ様と大人のスパークリング~

「ゆゆ様の腋汗… すこい雌の味がしますよ…」

「ひあッ…♡腋なんて舐めちゃだめよお…♡  
耻ずかしいわあ…♡」

「でも、さつきよりおまんこがキュッキュツと  
ちんぽに食いついてきますよ？」

「あん…♡そんなのぉ…♡嘘よお…♡」

「ああ、出るッ…腋汗味わいながら  
子宮にミルク出ますッ…」

「今出されたら恥モイッちゃうんツ…♡」

